



私たちが葉山の未来を作るんだ!

中学生・高校生議会

8月19日(金)、町の中学生・高校生が「こんな町にしたい!」という提案や質問などのアツイ思いをぶつける議会を開催しました。4回目となる今回からは、高校生も加わり、8人の学生議員が質問席に立ちました。問合せ 政策課 ☎内線333



横須賀市民病院へ行く全てのバスをノンステップバスにすることはできないか?

葉山中学校 2年
鈴木 佳太 議員

【政策財政部長答弁】

運行管理の都合上、特定の系統にノンステップバスを運行させるのは難しいと聞いているが、バスの利用環境向上のため、事業者に働きかけを行う。

すでに京急バスへ働きかけ済



山で行うようなキャンプイベントは、いつ頃・どこで実施する予定ですか?

葉山中学校 3年
矢嶋 さえ 議員

【町長答弁】

町の7割が緑で覆われているという自然豊かな立地を生かし、農作業体験やキャンプなど、地域の方などの協力をいただきながら進める企画を練っている。



姉妹都市草津町の中学生と交流するためにバス代を助成してもらえないか?

葉山中学校 3年
久保田 龍ノ介 議員

【教育部長答弁】

交流内容や実施時期などを草津町や学校間で調整し、実施の可能性について検討していきたい。今はできることを模索しながら中学生同士の交流を推進する。

◆ 議会とは

葉山町をもっと良い町にするためには、町民皆さんの意見を聴くことが必要です。しかし、3万人が一斉に話し合うことは難しいため、選挙で代表(町議会議員)を選び、代わりに話し合いをするのが町議会です。議会では、町の計画やお金の使い方などへの意見・提案をしています。

◆ 中学生が対象

第3回目までは、町内の中学生を対象に、「議会の場で意見を述べる経験を通じて、議会の役割や行政の仕事組みを考える」機会としていました。今年は選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、参加対象を高校生まで広げました。次代を担う中学生や高校生が、自分たちの住む町の今後を真剣に考え、その意見をより良いまちづくりに生かすことを目的に開催しています。



授業中に学校の窓を開けるとハチが入ってきて危険。網戸をつけられないか？
南郷中学校 2年
西田 翔平 議員



小中学校の夜に使っていない体育館を、団体ではなく個人向けに開放できないか？
葉山中学校 3年
松本 京子 議員

議長としての進行も
生徒が担いました！



【教育長答弁】

網戸設置の要望は、以前から検討を重ねてきたが、落下防止などの安全対策が十分できないことなどから難しい。エアコンの上手な利用をしていただきたい。

【教育部長答弁】

ご指摘のとおり個人利用できることが望ましいが、町内スポーツ団体の安定した活動を支援している中で、空きが少ない状況などがあり、現段階では難しい。



中高生向けにイベント情報を発信するLINEやツイッターを活用できないか？
鵜沼高校 1年
君島 梨子 議員



大型バスを使った移動図書館や町内会館などに図書館の本を置くことはできないか？
葉山中学校 2年
星野 彩音 議員



みんなが道路を安全に渡れるよう、横断歩道や歩道橋を新たに設置できないか？
葉山中学校 3年
金子 率 議員

【政策財政部長答弁】

中高生の皆さんにとって、SNSは大切な情報収集手段の一つだと思う。新たなアカウントを作成するなどして、皆さんに向けた情報発信の形を検討する。

導入に向けて動き出し

【教育部長答弁】

移動図書館は、車の用意や人の配置など様々な準備が必要になる。会館への貸出しは、現在保育園と小学校で行っている登録団体貸出を拡充することはできるだろう。

【町長答弁】

設置については県公安委員会や県土整備局が行っているが、町では町内会などから意見をいただきながら、警察署を経由して国道や県道の安全対策を要望をしている。

次の時代を担う皆さんのことを頼もしく思います



今まで参加した先輩が残した基礎の上に、皆さんの個性が重なった素晴らしい議会でした。広い分野にわたって質問され、皆さんの日頃の思いがストレートに伝わってきたため、こちらも真剣に答弁することができました。筋の通った論理的な文章を作ることや様々な物事を考えるのは苦労したと思いますが、これからも積極的に取り組んでほしいです。
葉山町教育長 返町 和久



◆ 質問づくり

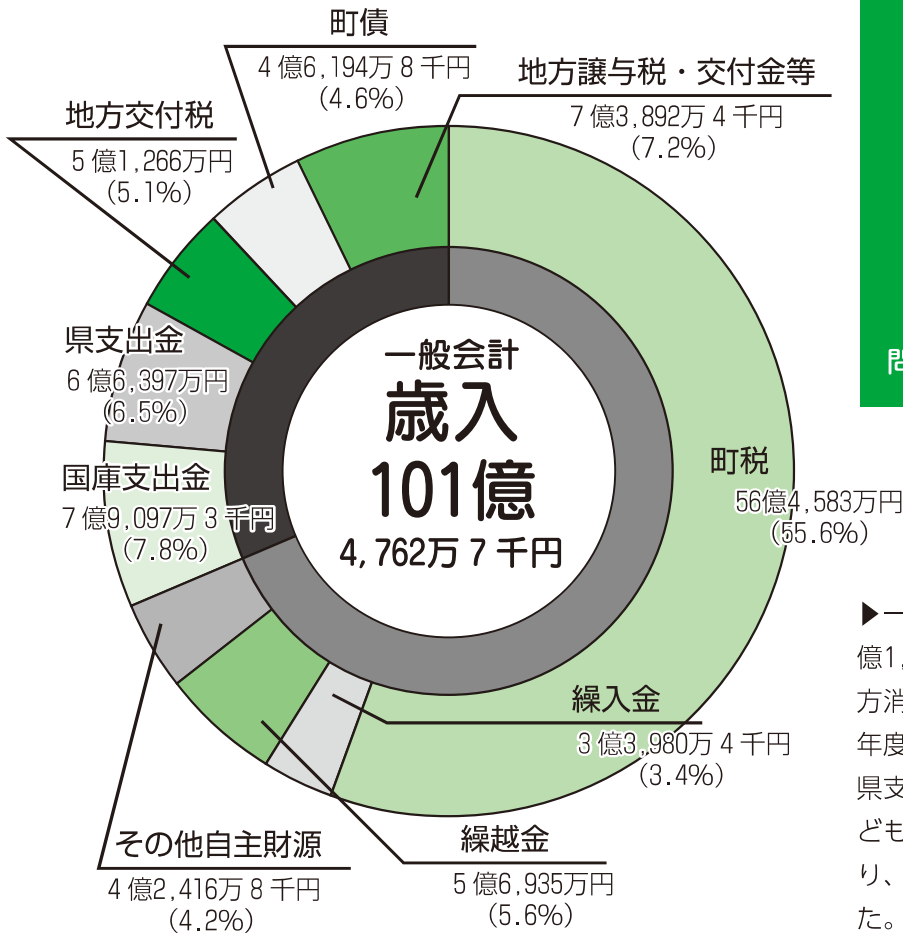
参加した8人の中学生・高校生は、興味や関心のあること、得意な分野も様々です。まずは町長・教育長・議長の話を聞き、それぞれの役割を学びました。次に、日頃気になる町のことを書き出し、参加者みんなで話し合い、自分の質問・提案したいことを文章にまとめました。

◆ 参加者の感想

参加した南郷中学校の西田翔平くんは、「南郷中から一人の参加で緊張したけど、疑問に思っていたことが解決して良かった。次は友達を誘って参加したいです」とふりかえります。議長を務めた葉山中学校の金子率くんは「昨年よりも具体的な話を提案したところ、前向きな回答がもらえて嬉しかった」と、2年連続参加しての感想を話してくれました。

平成27年度 決算の概要

問合せ 財政課 ☎内線321・322



■ 自主財源 (68.8%)
■ 依存財源 (31.2%)

▶一般会計歳入の決算額は、前年度比2億1,813万6千円の増となりました。地方消費税交付金が税率引上げ相当分の平年度化により、2億2,042万3千円の増、県支出金が民間保育所整備に伴う安心こども交付金事業費補助金の交付などにより、1億8,459万6千円の増となりました。町民税は、前年度一時的に増加していた株式等譲渡所得が減少したことなどから、1億7,471万1千円の減となっています。

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	44億2,098万 6千円	42億5,369万 5千円	1億6,729万 1千円
後期高齢者医療	8億8,828万 3千円	8億2,734万 5千円	6,093万 8千円
介護保険	27億8,941万 8千円	26億5,027万 9千円	1億3,913万 9千円
下水道事業	14億3,806万 3千円	13億9,007万 9千円	4,798万 4千円

特別会計

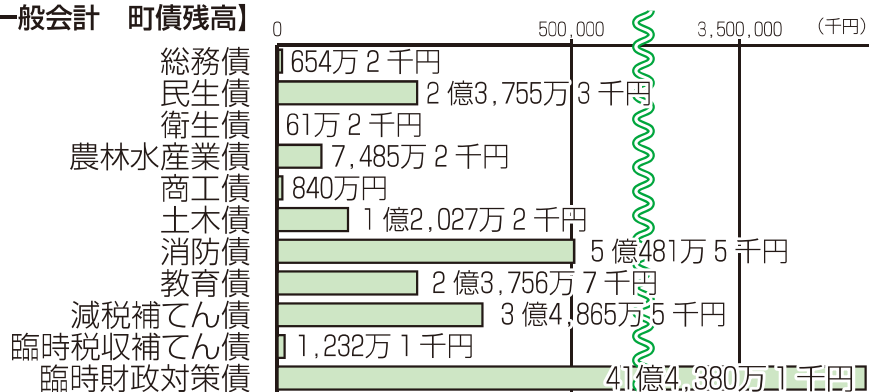
▶特別会計の歳入合計は、95億3,675万円、歳出合計は91億2,139万 8千円で、差引額は4億1,535万 2千円となりました。

町債の状況

▶町債とは、町が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金のことです。

▶一般会計・下水道事業特別会計とも元金償還額の範囲内で町債を発行している状況にあり、プライマリーバランスが保たれています。

【一般会計 町債残高】



【下水道事業特別会計 町債残高】 79億1,930万 6千円

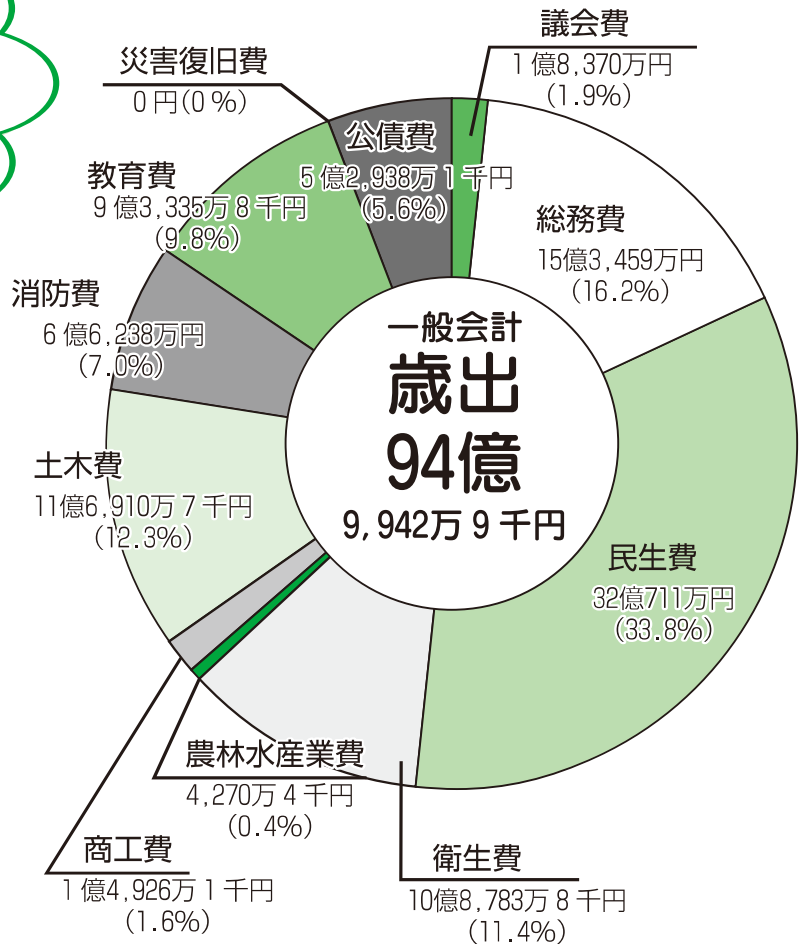
元金返済額より借入額が少ないから、町債(借金)が減っているのね!



少子高齢社会の進展に伴い、民生費（子育て・障害者・高齢者福祉にかかる経費）が平成23年度以降30%を超えています。平成27年度は33.8%で、前年度に比べ2.3ポイント増えました。



▶一般会計歳出の決算額は、前年度比1億3,928万8千円の増となりました。扶助費は子ども子育て支援新制度による保育給付費などの増加により8,139万1千円の増、補助費等は民間保育所施設整備費補助金や消防共同指令センターの運用開始に伴う負担増により3億1,198万4千円の増となりました。詳しい歳出の性質別の状況は、町HPから見るすることができます。



健全化判断比率	葉山町	早期健全化基準	昨年度との増減
実質赤字比率	—	14.12%	—
一般会計などの赤字額の割合	赤字になっていない		
連結実質赤字比率	—	19.12%	—
特別会計を含めた全会計の赤字額の割合	赤字になっていない		
実質公債費比率	△0.3%	25.0%	△0.3%
借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合			
将来負担比率	—	350.0%	—
一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されない		

資金不足比率	葉山町	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計の営業収益における資金の不足額の割合	資金不足になっていない	

健全化判断比率

▶地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、五つの指標を公表します。葉山町の平成27年度決算に基づく各指標の算定結果は、いずれも基準を下回っています。

▶健全化判断比率が一つでも基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て策定、公表するとともに県知事に報告します。

葉山町の財政の健全化は、国の基準では問題ないようね！平成27年度の町の決算の詳細は、町HPの「葉山の町政」というページからも確認できるので見てね！

